

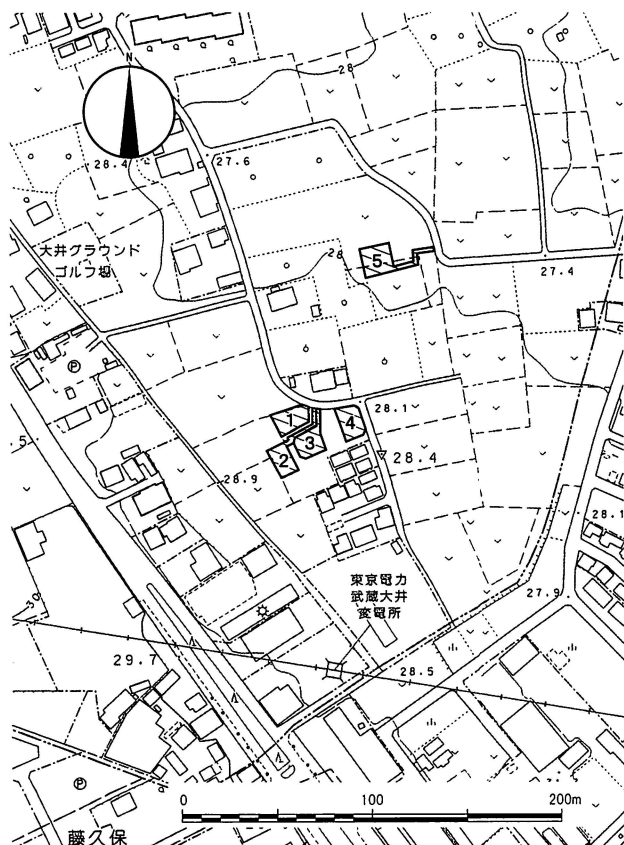
第 17 章 石塔畑遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

石塔畑遺跡は東武東上線ふじみの駅の南約 1.7 km、砂川堀右岸の台地奥に位置する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。標高は 28 m である。

現在徳性寺に建つ弘安四年（1281 年）の板碑は「大井坂上石塔の畑中より掘り出されたもの」（「大井町の散歩道」1974）と伝わる。弘安四年の板碑が発見され、徳性寺に持ち込まれた時期は不明であるが、この板碑は「大井町念佛講中」と刻まれた台石に埋め込まれており、江戸後期には発見されていたことが伺える。また、「石塔畑」の地は地元で鎌倉街道とも呼ばれる古道が通り、この地でクランク状に曲がる。中世に係わる遺構の検出が期待される。

周辺の遺跡は、北東 300 m に旧石器・縄文・古代の複合遺跡である東台遺跡、北 250 m に旧石器と近世の大井戸上遺跡、北西約 300 m に旧石器時代の西台遺跡が位置する。また、近世大井宿の上木戸跡が西側にある。



第 135 図 石塔畑遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

II 石塔畑遺跡第 1 地点

(1) 調査の概要

調査は個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より 2008 年 11 月 5 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南端に位置しているため、申請者と協議の結果、遺跡範囲と遺構確認の試掘調査を実施することになった。

試掘調査は 2008 年 11 月 17 日から 20 日まで行なった。幅約 2 m のトレンチを 2 本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、暗褐色土の遺構プランを確認したため、遺構の性格を確認するため一部調査したところ、現代の溝状遺構（イモビツ）であった。他に遺構・遺物は検出しなかったため慎重工事とした。確認面まで 70 ～ 90 cm を測る。写真撮影・平板測量による全測図等記録保存を行ない、調査を終了した。

III 石塔畑遺跡第 2 地点

(1) 調査の概要

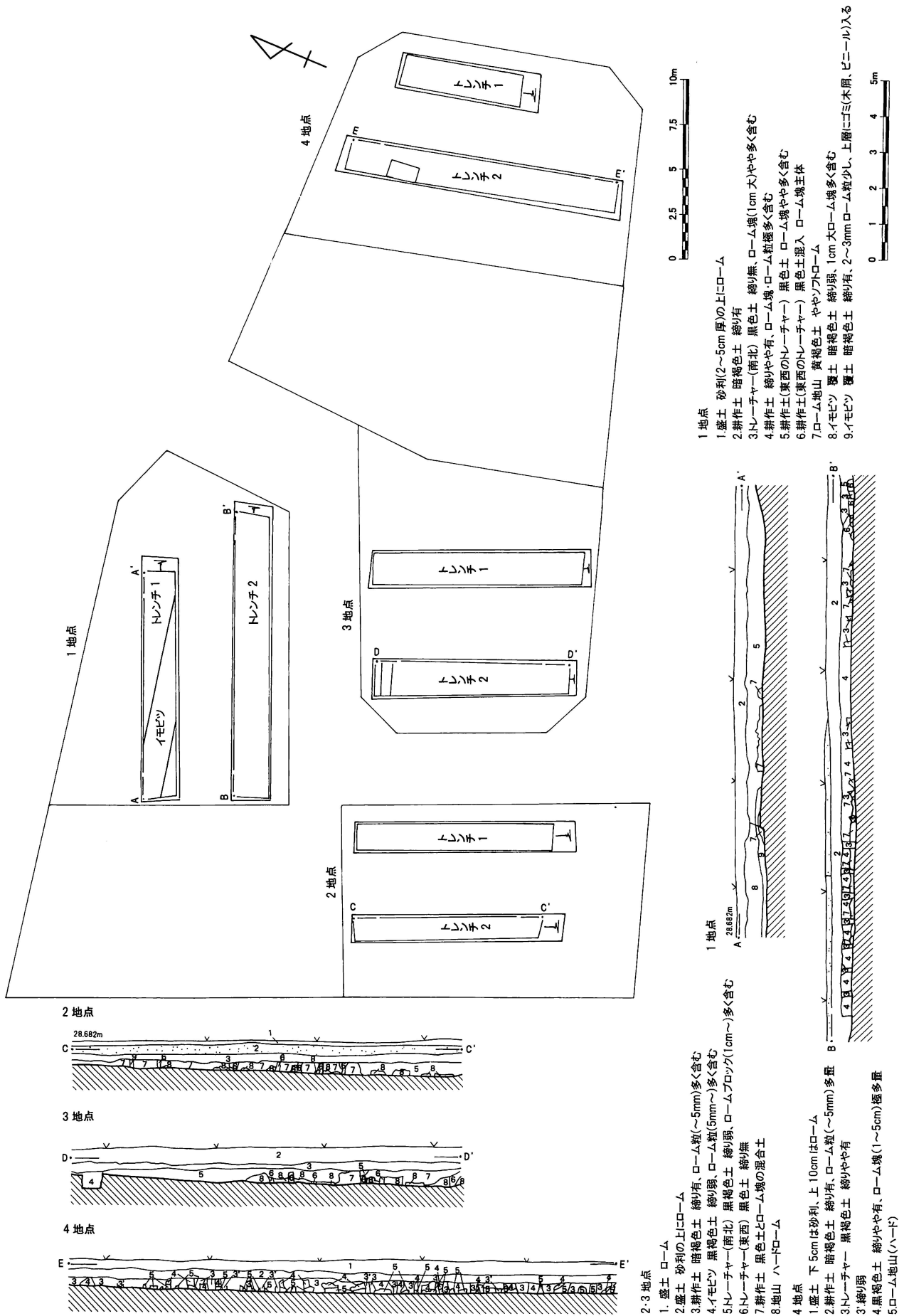
調査は個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より 2008 年 11 月 5 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南端に位置しているため、申請者と協議の結果、遺跡範囲と遺構確認の試掘調査を実施することになった。

試掘調査は 2008 年 11 月 18 日から 21 日まで行なった。幅約 2 m のトレンチを 2 本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、暗褐色土の遺構プランを確認したため、遺構の性格を確認するため一部調査したところ、現代の溝状遺構（イモビツ）であった。他に遺構・遺物は検出しなかったため慎重工事とした。確認面まで 70 ～ 90 cm を測る。写真撮影・平板測量による全測図等記録保存を行ない、調査を終了した。

IV 石塔畑遺跡第 3 地点

(1) 調査の概要

調査は個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より 2008 年 11 月 5 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南端に位置しているため、申請者と協議の結果、遺跡範囲と遺構確認の試掘調査を実施することになった。



第136図 石塔畑遺跡第1~4地点調査区域図 (1/300)、土層図 (1/150)

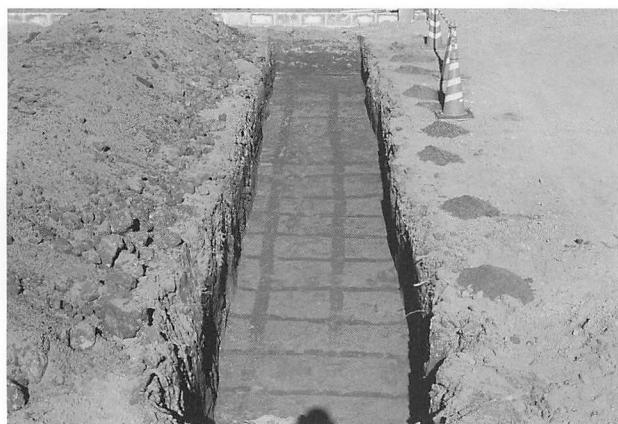
石塔畑遺跡



石塔畑遺跡第 1 地点全景



石塔畑遺跡第 1 地点トレンチ 2



石塔畑遺跡第 2 地点トレンチ 1



石塔畑遺跡第 2 地点トレンチ 2



石塔畑遺跡第 3 地点全景



石塔畑遺跡第 4 地点全景



石塔畑遺跡第 5 地点全景



石塔畑遺跡調査風景